

巻頭言

北海道支部長 深瀬 和文

いよいよ夏に向けて草木が濃くなってきました。これからだんだんと気温が高くなる季節を迎えますので、しっかりと水分を摂って熱中症に気をつけてください。

先日までサッカーのワールドカップが開催されて惜しくも日本は予選通過できず今大会ではドイツが優勝して閉幕しました。その華やかな大会で始球式を行ったのは8年前に交通事故を起こして下半身麻痺になった人がロボットの力で始球式を行いました。そのロボットは世界が協力して開発したパワーアシストロボットで装着して足を動かしたいと考えるだけで脳血流を感知してそれにロボットが反応して実際に足を動かす事ができるロボットです。何より世界中の人が見ており感動してくれました。

この事をきっかけに世界の人が興味を持ってくれることを願っています。

先日も東京に行ってHALの進行状況を見に行きました。だいぶコンパクトになっており脳からの信号を捉えるパットも大きくなりました。使っているところを実際に見たかったのですが丁度機械の機嫌が悪くて見られませんでした。だけど着実に技術進歩していることは肌で感じました。これからの社会はロボットが活躍する時代が確実に来ます。それに伴って難病患者に役立つロボットが開発されることを祈っています。

話は変わりますが保前先生を中心にみなさんのおかげで先日、帯広支会を立ち上げることができました。いろいろな問題はありますが東支会長が中心になって一つ一つ問題を解決していき自分も最大のサポートをするつもりです。ともあれ帯広支会が出来ることによって十勝管内の基盤ができて誠にめでとうございます。この輪が全道に広がっていくことを願っています。